

### 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	第四回「千両千両 井月さんまつり」の開催
事業主体 (連絡先)	千両千両 井月さんまつり実行委員会
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,005,595 円 (うち支援金 : 1,203,000 円)

#### 事業内容

日本に息づく俳句文化を後世に伝え、伊那谷で名句を残し種田山頭火や芥川龍之介にも影響を及ぼした俳人・井上井月を顕彰するため、前年同様に信州伊那井月俳句大会を事業の中心に据え、次の2つに注力して事業を展開しました。

- (1) 市内の子供向け、井月・俳句 PR 事業
- (2) 新たな層の井月ファン獲得のためのコラボ事業

井月、俳句、伊那谷の自然等に親しんでいただく機会を創出し、市民には地域への愛着を育んでもらい、また市外の方にはこの伊那谷の魅力を発信しながら、文化の保存、俳句の歴史の継承、地域への愛着情勢の観点から地域活性化を行いました。



【体験講座の様子】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

北は秋田県から、南は沖縄県まで幅広く参加があった。特に今年度は市内全小学校から投句があっただけでなく、市外からも数多くの投句があった。

- ①小中学生投句数前年度比 168 句
- ②高校一般の部投句数前年度比 54 句
- ③シンポジウム参加者前年度比約 286%増
- ④夜の部参加者前年度比約 40%増
- ⑤小中学生向け体験講座参加者前年度比約 3500%増
- ⑥表彰式・抹茶コーナー・講演会・当日句参加者前年度比約 11%増

- ① 全国からの誘客
- ② 次世代育成と地域愛醸成
- ③ 大会参加者の増
- ④ 井月ファンの獲得

#### 【目標・ねらい】

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

上記 (1) という点で、工夫次第で多くの子供に参加してもらえることがわかった。また、上記 (2) という点で、今年度は伊那の貫太郎と種田山頭火とコラボしたが、予想以上の参加があった。このことから今後、より工夫を凝らしたイベントを開催していき、更なる井月の認知度向上、最終的には伊那谷の魅力発信に大きく貢献し、地域振興を図りたい。

※自己評価 【 A 】

**【理由】**  
 全国から投句があったこと子供たちの参加が非常に増えたこと新たな井月ファンを獲得したこと等目標以上の成果を上げられたため。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある